X・B・S 歌と駆の場合

セイバー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

X・B・S 歌と駆の場合

【Nコード】

N6861P

【作者名】

セイバー

【あらすじ】

聖なる夜の愛の物語。とある少女の再会から始まった。クリスマス小説第十七弾です。

12月27日。マイメロは大晦日に向かえスーパーで買出しに向かった。

？

「マイメロ？あ、やっぱりマイメロだ！！」

と、突如自分を呼ぶ声が。マイメロはその方向を振り向くと。

マイメロ

「あ、きららちゃん」

そう、彼女はかつて、歌と出会う前のパートナー、星月きららである。

きらら

「久しぶりだね、マイメロ。星のかけら集め以来だね」

マイメロ

「うん。なつかしいね。マイメロ覚えてるよ。ところで、元ピヨちゃんやナタリーさんは元気？」

きらら

「元ピヨちゃん？ああ、ソララ王子のことか。元気だよ。それに聞いて、マイメロ。あたし、カイト先輩と両思いになったんだ。先輩も前から好きだった」

マイメロ

「よかったね。きららちゃん」

ちなみにソララ本人の名誉のために言っておくが、彼は初登場直後にバクの願いによってヒヨコの姿になったのだ。まああるかどうかわからないが。（笑）

ソララ

「へっくしー！」

ナタリー

「王子様、カゼですか？馬鹿はカゼひかねーっていいですけど、あれ嘘だったんですか？」

ソララ

「超むかつくなそれ。というよりスッゲー悪口言われたような・・・」
(怒)

そしてマイメロはきららに今までのことを話した。新しいパートナーの歌の事や、二度に渡るダークパワー事件の事や、黒音符のことを。

きらら

「そっかー。三年も大変だったねー」

マイメロ

「うん」

きらら

「それで？」

マイメロ

「へ？」

きらら

「新しいパートナーである歌さんの恋愛話よ。最近じゃどうなったの？」

マイメロ

「うんとね。あれはクリスマスイヴのことだったー（森本レオ

風に）」

きらら

「森本さん？」

話は12月24日、クリスマスイヴに遡る。歌と駆は恋人になって初めてのクリスマスを過ごしていた。

歌

「ねえ、駆」

きらら

「どっかいくの?」

バク

「これから世界負け犬の会に出席するゾナ」

きらら

「せ、世界負け犬の会って……」

そういうと、クロミとバクは去っていった。

きらら

「あつ、そくだ!! 続きは?」

マイメロ

「はい、続きはね……」

駆

「人を好きになるのに……理由なんか要らないじゃん。お前だつてそくだろ。柊の時みたいにノノノ」

駆は顔を赤くしながらそう答えた。その答えに歌本人も赤くなった。彼女も当初、柊恵一に恋していたのだから。

歌

「そくだね……。ごめんね、変な事聞いて……」

駆

「まあいいじゃん。それより、プレゼント交換しようぜ」

歌

「うん!!」

そして二人の影は一つになった。

きらら

「えー！ー！つ！！もしかして二人ともキスまでしちゃったのー！ー！?」

ちなみに彼らはくるくるシャッフル最終話でキスをしました。

マイメロ

「うん。あ」

マイメロが何かを見つけた。それは……

マイメロ

「歌ちゃんと駆君だ」

きらら

「えっ、どこと？」

きららは辺りを見回した。とそこに一組のバカップル、歌と駆がいたのだ。

歌

「駆、結婚したら、幸せにしてね／／／／」

駆

「ああ、絶対に歌を幸せにしてやるからな／／／／」

歌

「本当？うれしいー／／／／」

歌はあまりのうれしさに抱きついた。駆もまんざらではない様子だ。

きらら

「もしかして……、あの人達が／／／／」

マイメロ

「うん」

きらら

「ははは……でも少しは、自重してほしいよね……」

まあなんだかんだで今日も夢ヶ丘市は平和である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6861p/>

X・B・S 歌と駆の場合

2011年4月7日11時19分発行